

平成27年度

当初予算のポイント

いわき市 財政部



# I 当初予算の全体像（全会計の概要）

## 1 編成方針

### <予算編成に係る基本方針>

市復興ビジョンに掲げる「復興期」の最終年度にあたる平成27年度当初予算においては、厳しい財政状況の中、新・市総合計画基本構想に掲げる「めざしていく『いわき』の姿」の実現を目指し、市民福祉の増進と将来世代への責任を同時に果たすため、次の3点を基本方針として、復興と新たなまちづくりへの取組みと財政の健全化との両立を図ることを基本に編成

① 「ふるさといわき」の力強い復興と再生の実現

② 将来に向けたまちづくりの推進

③ 持続可能な行財政運営の確立

## 2 予算全体の状況

### (1) 「ふるさといわき」の力強い復興と再生の実現に対応した予算

648億3,499万1千円

- ・一般会計 346億9,778万1千円  
～復興事業の進捗に伴い関連事業費が収れん傾向～
- ・特別会計 155億7,552万1千円  
～土地区画整理事業は、震災復興土地区画整理事業の進捗により減～
- ・企業会計 145億6,168万9千円  
～病院事業は、新病院建設事業の本格化などにより大幅増～

### (2) 将来に向けたまちづくりの推進に対応した予算

230億4,179万千円

- ・一般会計 230億4,179万円  
～新たなまちづくりの推進に伴い事業費が増加～

### (3) 財政の健全性を確保した予算（一般会計）

区 分		財政目標	平成27年度末見込
財政調整基金残高		30億円以上	約68億円
市債残高	年度末残高	970億9,576万円以下	714億9,454万8千円
	市民一人あたり	28万4千円以下	22万1千円

※ 目標については、平成27年度末・平成32年度末の残高。

※ 市債残高については臨時財政対策債を除く。

**3 予算規模**

- 一般会計は、復興事業の進捗に伴い関連事業費が収れん傾向
- 特別会計は、土地区画整理事業が減となる一方、国民健康保険事業（事業勘定）及び下水道事業の増などにより、全体としては増
- 企業会計は、新病院建設事業の本格化などにより増

**(1) 一般会計 1,541億6,160万4千円（対前年度：△54億8,145万6千円、△3.4%）**

・詳細は4ページ以降のとおり

**(2) 特別会計 1,241億7,469万4千円（対前年度：+26億3,418万8千円、+2.2%）**

（主な予算内容）

- ① 国民健康保険事業（事業勘定）特別会計 427億1,301万4千円  
（対前年度：+44億6,944万5千円、+11.7%）  
・対象医療費の拡大に伴う保険財政共同安定化事業費の増などによるもの
- ② 介護保険特別会計 296億 988万7千円  
（対前年度：+4億238万7千円、+1.4%）  
・要介護認定者数の増に伴う保険給付費の増などによるもの
- ③ 土地区画整理事業特別会計 178億6,872万1千円  
（対前年度：△16億678万5千円、△8.3%）  
・震災復興土地区画整理事業の進捗による事業費の減などによるもの
- ④ 下水道事業特別会計 123億9,163万8千円  
（対前年度：+6億7,360万7千円、+5.7%）  
・管渠及びポンプ場に係る下水道建設費の増などによるもの
- ⑤ 中央卸売市場事業特別会計 3億3,131万4千円  
（対前年度：△1億211万2千円、△23.6%）  
・空調設備工事の完了に伴う事業費の減などによるもの
- ⑥ 競輪事業特別会計 167億4,684万3千円  
（対前年度：△12億5,407万5千円、△7.0%）  
・競走路の全面改修に伴う開催日数の減などによるもの

**(3) 企業会計 522億9,732万1千円（対前年度：+28億6,192万7千円、+5.8%）**

- ① 水道事業会計 186億6,683万7千円  
（対前年度：+7億7,116万9千円、+4.3%）  
・被災沿岸地区に係る災害復旧事業費の増などによるもの
- ② 病院事業会計 336億3,048万4千円  
（対前年度：+20億9,075万8千円、+6.6%）  
・新病院建設事業の本格化に伴う増などによるもの

**(4) 合計 3,306億3,361万9千円（対前年度：+1,465万9千円、+0.0%）**

平成27年度当初予算においては、1日も早く復興・再生を成し遂げ、将来を見据えたまちづくりを着実に進めていくこととして編成した。

特に、喫緊の課題である「医・職・住」に加え、「子育て」「教育」について、重点的な取組みを進めるほか、復興・再生後の新たないわきの姿を見据え、安全・安心に生活できる社会の構築や魅力あふれる地域づくりを進めるため、ハード事業、ソフト事業ともに充実を図ることとした。

【考え方】

1日も早く復興・再生を成し遂げ、  
将来を見据えたまちづくりを着実に進める

「医・職・住」をはじめ、  
「子育て」「教育」の分野に  
ついて、重点的な取組みを  
進める

安全・安心に生活できる  
社会の構築や魅力あふれる  
地域づくりを進める

「明るく元気ないわき市」復興・創造予算



## Ⅱ 一般会計当初予算のポイント

### 1 予算規模

1,541億6,160万4千円

(対前年度：△54億8,145万6千円、△3.4%)

○国：一般会計+0.5%（東日本大震災復興特別会計：+7.2%）

○地方財政対策：通常収支分+2.3%（東日本大震災分：+12.9%）

○福島県：+10.8%（うち震災・原子力災害対応分：+18.2%）

### (1) うち 復興関連経費 346億9,778万1千円

(対前年度：△69億5,660万1千円、△16.7%)

① 復興事業計画（第四次）に基づく事業（288億7,229万円）※除染実施計画に基づく事業を除く。

(対前年度：△16億3,946万2千円、△5.4%)

学校教育施設の地震補強事業や都市下水路復興整備事業などが増となる一方、小名浜港背後地復興拠点整備事業の大幅減や小名浜地域水産業施設復興整備事業の皆減などによるもの

(増減の主な内訳)

- ・校舎等地震補強事業・・・・・・・・・・23億4,942万1千円（+16億4,217万7千円）
- ・中学校災害復旧事業・・・・・・・・・・13億1,749万8千円（+9億8,956万1千円）
- ・都市下水路復興整備事業・・・・・・・・11億5,424万円（+11億5,424万円）
- ・小名浜港背後地復興拠点整備事業・・・・14億685万9千円（△29億9,040万7千円）
- ・小名浜地域水産業施設復興整備事業・・・・・・0円（△10億7,039万6千円）
- ・都市公園整備事業（復興枠分）・・・・7億8,500万3千円（△7億2,380万9千円）

② 除染実施計画に基づく事業（58億2,549万1千円）※H26当初予算は復旧計画に基づく事業を含む。

(対前年度：△53億1,713万9千円、△47.7%)

復旧計画（災害廃棄物処理事業等）の完了に伴う皆減や除染推進事業の減などによるもの

(増減の主な内訳)

- ・災害廃棄物処理事業・・・・・・・・・・0円（△38億5,190万7千円）
- ・除染推進事業・・・・・・・・・・58億2,549万1千円（△13億9,131万6千円）

### (2) うち まちづくり関連経費 230億4,179万円

(対前年度：+57億8,899万1千円、+33.6%)

(増減の主な内訳)

- ・幹線道路整備事業（補助）・・・・・・・・17億2,974万5千円（+12億3,437万6千円）
- ・陸上競技場改修事業・・・・・・・・・・5億1,476万4千円（+5億1,476万4千円）
- ・認定子ども園整備事業費補助金・・・・4億8,545万5千円（+4億8,545万5千円）
- ・一般廃棄物ゼロ・エミッション推進事業・・・・5億6,031万8千円（+3億8,100万9千円）
- ・私立保育所施設型給付費・・・・・・・・27億6,946万4千円（+27億6,946万4千円）※

※義務的経費から政策的経費への移行に伴う増

## 2 歳入予算

- 市税は、復興需要及び雇用情勢の改善等により増加
- 地方消費税交付金は、消費税率の引上げ及び交付月数の増に伴い増加
- 地方交付税は、普通交付税の減により減少
- 国庫支出金は、災害廃棄物処理事業の完了などにより減少

### (1) 市税 484億6,159万8千円 (対前年度: +7億8,296万5千円、+1.6%)

○個人市民税 156億9,807万3千円 (対前年度: +6億1,822万4千円、+4.1%)

復興需要及び雇用情勢の改善などによるもの

○法人市民税 46億4,485万1千円 (対前年度: △2,197万円、△0.5%)

税率改正などによるもの

○固定資産税 190億2,770万6千円 (対前年度: +2億1,845万8千円、+1.2%)

震災復興に伴う優遇措置による設備投資の拡大などによるもの

○たばこ税 32億 153万7千円 (対前年度: △1億5,653万5千円、△4.7%)

健康志向の高まりに伴う売上本数の減少によるもの

### (2) 地方消費税交付金 52億6,969万5千円 (対前年度: +14億887万8千円、+36.5%)

○地方消費税交付金 52億6,969万5千円 (対前年度: +14億887万8千円、+36.5%)

消費税率の引上げ及び交付月数の増によるもの

### (3) 地方交付税 244億6,505万4千円 (対前年度: △13億71万2千円、△5.0%)

○普通交付税 128億 18万2千円 (対前年度: △36億5,189万5千円、△22.2%)

前年度交付決定額に基づく基準財政需要額の減などによるもの

○特別交付税 116億6,487万2千円 (対前年度: +23億5,118万3千円、+25.2%)

震災に伴う市税の減収分に係る震災復興特別交付税の増によるもの

### (4) 国県支出金 351億3,996万8千円 (対前年度: △24億608万円、△6.4%)

○国庫支出金 195億1,373万4千円 (対前年度: △15億8,724万7千円、△7.5%)

災害廃棄物処理事業の完了に伴う国庫補助金の皆減などによるもの

○県支出金 156億2,623万4千円 (対前年度: △ 8億1,883万3千円、△5.0%)

除染推進事業に係る県補助金の減などによるもの

### (5) 繰入金 150億8,616万4千円 (対前年度: △33億6,776万8千円、△18.2%)

東日本大震災復興交付金基金繰入金の減などによるもの

### (6) 市債 112億9,406万2千円 (対前年度: +7,615万3千円、+0.7%)

臨時財政対策債の減及び学校教育施設等整備事業債の増などによるもの

### 3 歳出予算

- 義務的経費は、公債費の減に伴い減少
- 投資的経費は、復興事業の進捗に伴い減少
- 物件費は、災害廃棄物処理事業の完了などに伴いに減少
- 維持補修費は、大規模修繕の実施などにより大幅に増加

#### (1) 義務的経費 575億346万4千円 (対前年度：△28億9,111万1千円、△4.8%)

○人件費 198億 162万1千円 (対前年度：△ 1億8,324万9千円、△0.9%)

職員数の減などによるもの

○扶助費 260億5,388万7千円 (対前年度：△ 3億2,588万7千円、△1.2%)

実績を踏まえた生活保護扶助費の減などによるもの

○公債費 116億4,795万6千円 (対前年度：△23億8,197万5千円、△17.0%)

これまでに発行した建設事業債の償還終了などによるもの

#### (2) 投資的経費 289億939万4千円 (対前年度：△12億6,701万5千円、△4.2%)

○普通建設事業費 263億2,429万1千円 (対前年度：△24億907万4千円、△8.4%)

小名浜港背後地復興拠点整備事業の進捗による減などによるもの

○災害復旧事業費 25億8,510万3千円 (対前年度：+11億4,205万9千円、+79.1%)

豊間中学校校舎の建設工事着手に伴う増などによるもの

#### (3) その他の経費 314億3,273万2千円 (対前年度：△28億3,349万9千円、△8.3%)

○物件費 282億399万9千円 (対前年度：△38億1,782万9千円、△11.9%)

・災害廃棄物処理事業 0円 (対前年度：△38億4,265万円、皆減)

事業の完了に伴い皆減となるもの

・除染推進事業 58億1,938万1千円 (対前年度：△13億8,652万6千円、△19.2%)

事業計画の見直しに伴い減となるもの

・農業系汚染廃棄物処理事業 8億844万6千円 (対前年度：+8億844万6千円、皆増)

放射性物質を含む農業系の副産物などの処分を行うことによるもの

・一般廃棄物ゼロ・エミッション推進事業 5億6,031万8千円

(対前年度：+3億8,100万9千円、+212.5%)

ごみ焼却灰のリサイクル量の増加によるもの

○維持補修費 32億2,873万3千円 (対前年度：+9億8,433万円、+43.9%)

・陸上競技場改修事業 5億559万7千円 (対前年度：+5億559万7千円、皆増)

公認に必要な施設の修繕を行うことによるもの

・南部スタジアム改修事業 2億9,270万円 (対前年度：+2億9,270万円、皆増)

外野の芝生化や管理棟の補修工事などを行うことによるもの

・道路維持補修費 6億219万1千円 (対前年度：+5,474万6千円、+10.0%)

老朽化等を踏まえ、道路の維持補修を集中的に実施することによるもの

#### 4 平成27年度当初予算における主要な事業

(凡例：☆新規、◎拡充（内容見直しなど）、○継続)

##### 1) 喫緊の課題などへの対応

###### I 「医」：地域医療の充実

- ☆休日夜間急病診療所整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8, 365千円  
総合磐城共立病院の建替えに伴い、現在、同病院内に開設されている市休日夜間急病診療所を新たに移転整備する。
- ◎大学医学部寄附講座開設事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110, 000千円  
本市の医療体制を確保するため、大学医学部等に寄附講座を開設し、総合磐城共立病院において不足している診療科の医師を招聘する。  
(新規：地域整形外科支援講座、継続：地域産婦人科支援講座)
- 新病院建設事業【病院事業会計】・・・・・・・・・・・・・・・・ 12, 085, 464千円  
施設の老朽化等の問題を解決し、地域の中核病院として、良質な医療を将来にわたり安定的に供給していくため、総合磐城共立病院の建替えとなる新病院建設を行う。
- 救命救急センター運営費負担金・・・・・・・・・・・・・・・・ 136, 896千円  
三次救急医療を確保するため、生命の危機を伴う重篤患者に対して高度で専門的な医療を行う救命救急センターの運営に要する経費の一部を負担する。
- 休日夜間急病診療所運営費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74, 438千円  
一次救急医療を確保するため、休日及び夜間における比較的症状の軽い急病患者の診療を担う休日夜間急病診療所を運営する。
- 病院群輪番制運営費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33, 375千円  
二次救急医療を確保するため、休日及び夜間における入院や手術等を要する重症患者等の診療を市内の病院が輪番により実施する病院群輪番制病院運営事業に要する費用の一部を助成する。
- 医療提供体制支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2, 500千円  
市内において不足している小児科や産科などの特定診療科を再開、新設する場合には、診療室の改修などの施設整備や医療機器購入に要する費用の一部を助成する。
- 女性医師等就業支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1, 000千円  
女性医師をはじめとする医療スタッフ等の子育て環境を整備するため、医療機関内に設置されている保育所が休日や夜間等の時間外に保育を行う場合に費用の一部を助成する。

## Ⅱ 「職」：産業振興策と雇用対策の一体的な推進

### ☆空き店舗等入居支援事業費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4, 393千円

津波により被災した市内の中小企業者が、市内の空き店舗等に入居して事業活動を行う場合に、県の補助制度と協調して、空き店舗等の賃借料及び改装費の一部を補助する。

### ◎工場等立地奨励金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 699, 560千円

工場等の立地促進、工業の振興及び地域経済の活性化を促進するため、本市に工場等を新設又は増設する企業に対し奨励金を交付する。（事業所21→27）

### ◎障がい者チャレンジ雇用推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11, 708千円

障がい者の就労を通じた社会参加の促進を図るため、知的障がい者等を市において短期間雇用し、企業等での一般就労に向けて就業訓練を行う。

（就業員3名→4名、支援員1名→2名）

### ◎成長戦略産業育成支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 901千円

東日本大震災及び原発事故による大きな被害を乗り越え、市内経済・産業が再び輝きを取り戻すため、国が定めた「日本再興戦略」の内容に沿って、市内における成長戦略産業の育成支援を行う。

### ◎環境・エネルギー関連産業創出支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2, 307千円

市内の事業者、高等教育機関、産業支援機関、行政等が集い、相互交流を促進するネットワークを構築し、市内事業者等の環境・エネルギー分野への新規参入や、同分野での取引拡大に向けた取組みを支援する。

### ◎いわき国際研究産業都市構想研究会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1, 068千円

国が新たに設置した個別検討会等の動向を見据えながら、本市のポテンシャルを活かした新たな産学連携拠点の可能性等について、産学官の連携により検討する。

### ◎障がい者雇用促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1, 025千円

障がい者雇用に対する意識の醸成及び雇用促進を図るため、社会意識の高い事業所を障がい者雇用優良企業として表彰するほか、市民や企業等を対象とした障がい者雇用促進セミナーや障がい者を積極的に雇用している事業所への見学会等を実施する。

### ◎洋上風力発電調査研究事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 600千円

国により進められている浮体式洋上風力発電の実証研究事業を契機として、将来の製造拠点化や関連産業の集積、更には地域企業の参入等に向けた取組みを推進する。

### Ⅲ 「住」：住環境の早期改善

#### ☆復興道路整備事業（福島再生加速化交付金分）・・・・・・・・・・ 157,000千円

双葉郡からの長期避難者に対して県が整備する復興公営住宅等の建設に伴い、交通量の増加等が想定されることから、周辺道路の改良を行う。

#### ○震災復興土地区画整理事業【土地区画整理事業特別会計】

・・・・・・・・・・・・・・・・ 14,760,269千円

市内5地区（久之浜、薄磯、豊間、小浜、岩間）において、都市基盤や防災緑地等の整備を行う。

#### ○災害公営住宅整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,690,102千円

東日本大震災により住宅を失い、個人で住宅を再建することが困難な被災者の生活再建を支援するため、災害公営住宅の整備を行う。

#### ○市営住宅管理基金積立金・・・・・・・・・・・・・・・・ 798,900千円

市営住宅の管理経費及び市営住宅整備のために借り入れた市債の償還の財源とするため、市営住宅使用料等を基金に積み立てる。

#### ○優良建築物等整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 720,674千円

被災者への住宅提供による早期の生活再建等を図るため、診療所等を備えた共同住宅の整備を行う事業者に対し、補助金を交付する。（整備地区：平堂根町）

#### ○津波被災住宅再建事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 433,409千円

津波により滅失、又は損壊した住宅の再建のための建設・購入費の借入利子、移転費用及び浸水区域内での宅地嵩上げ工事費用の一部を補助し、再建を支援する。

（補助概要(上限額)：利子(1,530千円)、嵩上げ(1,190千円)、移転(100千円)）

#### ○防災集団移転促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 198,048千円

津波により被災した地域において、住民の居住に相当でないと認められる区域内にある住居の集団移転を実施する。

（末続地区、金ヶ沢地区、錦町須賀地区、走出地区）

#### ○災害公営住宅入居支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 67,400千円

東日本大震災により住宅を失い、個人で住宅を再建することが困難な被災者の生活再建を支援するため、災害公営住宅に入居する際の移転費用の一部を補助する。

（補助上限額：100千円、想定件数：674戸）

#### ○市街化区域見直し調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,793千円

震災後の宅地需要に早期に対応するため、市街化区域の拡大も視野に入れた機動的な土地利用の運用を図る観点から、「市街化調整区域における地区計画」の活用に向けた調査を行う。

#### IV 「子育て」：子育て支援の充実

☆子ども・子育て支援新制度関連事業・・・・・・・・・・4,663,532千円

平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」が本格施行されることに伴い、私立保育所や認定こども園に対する施設型給付費の支給など、子育て支援に係る様々な取組みを実施する。

☆（仮称）なこそ子ども元気パーク屋内施設等整備事業・・・・・・・・496,499千円

子どもの運動機会を確保するため、屋内運動施設（（仮称）こども元気センター）を整備するとともに、老朽化した屋外遊具の更新を行う。

☆都市公園整備事業（福島定住等緊急支援交付金分）・・・・・・・・171,012千円

子どもの運動機会を確保するため、松ヶ岡公園に芝生広場等を整備するとともに、老朽化した屋外遊具の更新等を行う。

☆小・中学校通学安全対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・764千円

通学時の安全安心を確保するため、関係機関で構成する新たな協議会を設置し、通学時の交通安全を推進するとともに、通学路の改善や「子ども避難の家」に配布している表示旗の更新等を行う。

◎放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ運営）・・・・・・・・247,757千円

昼間、就労等により、保護者が家庭にいない小学生に対し、授業終了後の適切な遊びや生活の場を提供し、その健全育成を図る。

（放課後児童クラブ：46箇所→49箇所）

○スポーツ交流促進施設（多目的運動場）整備事業・・・・・・・・1,087,466千円

子どもの運動機会を確保するため、多くの子ども達が活動しているソフトボールや少年軟式野球、サッカーなど様々なスポーツに利用できる多目的運動場を整備する。

○出産支援金支給事業・・・・・・・・・・・・・・・・154,502千円

出産を奨励祝福するとともに、出産に係る経済的な負担を軽減し、安心して子どもを産み育てることができる環境整備に寄与するため、出産支援金を支給する。

（第1子：5万円、第2子：6万5千円、第3子以降：8万円）

○子ども遊び場除染事業・・・・・・・・・・・・・・・・20,000千円

放射線量の低減を図り、子ども達が安心して遊べる環境を確保するため、除染対象区域外にある保育施設、教育施設、公園等の「子どもの生活環境」を対象に、敷地内に存在するホットスポットについて、詳細なモニタリング結果に基づき除染を行う。

○赤ちゃん絵本プレゼント事業・・・・・・・・・・・・・・・・3,030千円

出産を祝福するとともに、乳幼児期における絵本の読み聞かせを通じ、親子のふれあいの大切さを伝え、健全育成の促進に寄与するため、絵本をプレゼントする。

## V 「教育」：教育先進都市の実現

☆さわやかトイレ・リフレッシュ事業（小・中学校）・・・137,359千円  
市に寄贈を受けた洋式トイレを小中学校に設置し、洋式化率の向上を図る。

☆仮設校舎整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73,367千円  
児童数の増加や仮設校舎の老朽化に対応するため、仮設校舎の増改築を行う。  
（泉小：プレハブ設置工事、磐崎小：プレハブ設計委託）

☆小・中学校机・いす更新事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6,353千円  
経年劣化により、破損または使用できなくなった小・中学校の机・いすを、計画的に新JIS規格の机・いすに更新する。

☆土曜学習推進モデル事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3,753千円  
子どもたちの健やかな成長を図るため、学校や家庭、地域（公民館等）が連携し、役割分担しながら、土曜学習を実施する。

☆敷地造成等事業（中学校）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,091千円  
学校敷地の安全を確保するため、擁壁の設置等を行う。（湯本三中）

◎三和・田人スクールバス通学支援事業・・・・・・・・・・・・・・145,080千円  
三和及び田人地区の学校の再編に伴い、遠距離通学となった児童生徒への通学支援として、借上げによるスクールバス及びスクールタクシーを運行する。

◎学校司書設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25,207千円  
学校図書館の機能向上により、子どもの読書活動の充実、学力の向上につなげるため、小中学校に学校図書館の蔵書管理や児童生徒への読書指導等を行う学校司書を設置する。（学校司書数：23人→25人）

◎生徒会長サミット事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4,552千円  
中学校の生徒会長が各学校で共通する課題等について協議し、その解決に向けた実践策を検討する場として「生徒会長サミット」を開催するほか、長崎市との交流事業や韓国への派遣事業を実施する。

◎校舎等地震補強事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,349,421千円  
安全かつ安心な教育環境を確保するため、いわき市立学校施設耐震化推進計画に基づき、校舎等の耐震化を図る。（小学校：19校、中学校：12校、幼稚園：2園）

◎中学校災害復旧事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,317,498千円  
東日本大震災により被災した中学校施設の災害復旧を行う。  
（豊間中：校舎・屋内運動場、江名中：武道場、田人中：屋内運動場・プール）

## VI 「安全・安心」：安全・安心に生活できる社会の構築

- ☆農業系汚染廃棄物処理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 808, 446千円  
放射性物質の検出により利用が困難となった牛ふん堆肥、ほだ木等の農林業系廃棄物を一時集積所において引き続き保管するとともに、1,000Bq/kg以下のものについては焼却処分する。
- ☆支所等施設管理経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 140, 651千円  
市民サービスの向上等を図るため、支所庁舎及び設備の改修工事等を行う。  
(空調設備設置工事：小名浜・勿来・常磐支所、サッシ・外壁補修：内郷支所)
- ☆橋りょう長寿命化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69, 000千円  
市が管理する市道橋のうち、幹線道路等の重要な市道に架かる橋について、長寿命化修繕計画に基づき、点検及び補修等を行い長寿命化を図る。
- ☆仮置場等放射線量常時監視事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43, 199千円  
除染作業に伴い設置した仮置場に対する市民の理解を促進するため、放射線量を常時測定・監視する機器を仮置場に設置し、放射線量の測定結果を常時公開することにより安全性を確認する。
- ☆防災まちづくり活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8, 424千円  
地域住民自らが災害リスクや避難方法等を再確認し、地域の役割や協力体制を構築するため、防災ワークショップの開催を通じて地区防災計画の策定に向けた活動を支援する。
- ☆放射線への理解を深める地域モデル事業・・・・・・・・・・・・・・ 5, 805千円  
久之浜町末続地区の住民を対象に、放射線への理解を深めるための各種事業を実施する。(外部被ばく線量の測定、内部被ばく検査、専門家による相談会の開催など)
- ☆さわやかトイレ・リフレッシュ事業・・・・・・・・・・・・・・ 5, 232千円  
男女兼用で老朽化しているJR久ノ浜駅のトイレを改修するほか、市民サービスの向上を図るため、小名浜支所のトイレを洋式化する。
- ☆被災消防団施設・機械整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4, 428千円  
消防力の充実強化を図り市民生活の安全を確保するため、津波被害を受けた消防団施設・機械を新たに整備する。(機械置場兼団員詰所解体工事：3箇所)
- ☆避難行動要支援者避難支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2, 368千円  
災害対策基本法の改正等に伴い、新たに避難行動要支援者名簿の策定が義務付けられたことを受け、円滑かつ迅速な避難支援を行うため、名簿情報の共有や避難支援体制を構築する。

◎介護保険事業【介護保険特別会計】・・・・・・・・・・ 28,912,683千円  
介護保険法に基づく介護給付等を実施する。

◎日常生活用具給付費・・・・・・・・・・ 109,965千円  
障がい者（児）に、日常生活の便宜を図るための用具を給付する。  
（防災ラジオを新たに給付対象として追加）

◎避難路整備事業・・・・・・・・・・ 72,494千円  
東日本大震災により、広域かつ甚大な津波被害を受けた沿岸市街地において、津波避難計画に基づき、避難所等までの避難路を整備する。

◎原子力災害安全対策強化事業・・・・・・・・・・ 10,770千円  
原子力施設等の不測の事態に備え、緊急時において、市・関係機関及び住民が冷静かつ円滑に対応できるよう、市独自の原子力防災訓練を実施するとともに、防護措置や避難手法等の必要な事項について市民に周知するため、原子力災害対策の手引きを作成し配布する。

◎自主防災組織強化支援事業・・・・・・・・・・ 5,790千円  
自主防災組織の機能強化を図り、自助・共助による防災力の向上を図るため、新設する自主防災組織に対して資機材購入費を補助するほか、地域の防災リーダーとして活動する人材を育成するため、新たに防災の基礎知識や技能を有する防災士養成講座を実施する。

## VII 「魅力あふれる地域の創生」：市街地の賑わい再生や中山間地域の活性化

☆南部スタジアム改修事業・・・・・・・・・・ 292,700千円  
外野の芝生化のほか、管理棟の補修工事や洋式トイレの設置工事などを行う。

☆市制施行50周年記念事業広報PR事業・・・・・・・・・・ 14,539千円  
市制施行50周年の周知と機運の醸成を図るため、キャッチフレーズやロゴマークを広く募集するほか、記念事業の実施に向けた広報PRを行う。

☆中心市街地活性化基本計画策定事業・・・・・・・・・・ 13,195千円  
「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく「中心市街地活性化基本計画」を策定し、国の認定を受けることにより、国支援と民間活力とを活用した中心市街地活性化を図る。

- ☆地域おこし協力隊活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9, 701千円  
 地域活性化を図るため、国の「地域おこし協力隊制度」を活用し、遠野地区において「遠野和紙」製造技術の継承を目的とした地域協力活動を行う。
- ☆50周年記念誌等発行事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7, 377千円  
 本市の市制50年のあゆみや震災からの復興の姿を記念誌や映像記録として編集・制作するとともに、市民から映像作品を募集しコンテストを行う。
- ☆U-15野球ワールドカップ推進委員会補助金・・・・・・・・・・ 7, 291千円  
 平成28年度に本市で開催予定の「U-15野球ワールドカップ」に向け、官民協働で開催機運を高めるとともに、開催効果を最大限発揮するよう、推進委員会に対し経費の一部を補助する。
- ☆地区まちづくり計画改訂調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 6, 079千円  
 震災後のまちなみに変化が生じている湯本駅周辺地区について、震災後の状況変化を踏まえ、当該地区まちづくり計画の改訂に向けた、新たなまちづくり基本構想を策定する。
- ☆被災沿岸地域まちづくり推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 3, 000千円  
 被災沿岸域において、地域の復興・再生の指針である「復興グランドデザイン」に基づく取組みを支援し、早期の具現化を図ることにより復興を加速する。
- ☆アロハ！ハッピーウエディング事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1, 674千円  
 本市で婚姻届を提出された夫婦に、祝福のメッセージを添えた記念品を贈呈する。
- ☆伝えたい誇れるいわき醸成事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1, 192千円  
 市制施行50周年の節目にあたり、本市が誇る歴史・文化・伝統など「伝えたい誇れるいわき」を見出し、広くPRし、後世へ繋いでいくことを通して、「明るく元気ないわき市」の創造に向けた機運の醸成を図る。
- ☆観光振興対策事業費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1, 000千円  
 震災からの観光復興を支援するため、観光振興・風評払拭に取り組む、いわき市旅館・ホテル業連絡協議会に対し補助金を交付する。
- ☆市民プレゼン大会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 590千円  
 市制施行50周年に向けた機運の醸成を図るとともに、市民等の意見を記念事業に反映するため、アイデアを公募し、プレゼンテーションによって事業選定を行う「いわき市市制施行50周年記念事業プレゼン大会」を開催する。

◎（仮称）いわきサンシャイン博開催支援事業・・・・・・・・・・・・・20,000千円  
ふくしまデスティネーションキャンペーン開催期間をイベントと位置づけ、運営面を含めた課題を検証し、平成28年度の本番開催に向けた準備を行う。

◎中山間地域集落支援員推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6,884千円  
人口減少と少子高齢化の進行に伴い、集落機能の低下が深刻化してきている中山間地域において、集落の状況把握、集落点検など集落対策を支援する「集落支援員」を設置し、集落の維持・活性化を図る。  
（対象地域：川前、三和地区に加え、田人、遠野、小川（一部）地区に拡充）

## (2) ふるさといわきの力強い復興の実現

### I 被災者の生活再建

☆仮置場等放射線量常時監視事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43, 199千円

☆放射線への理解を深める地域モデル事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5, 805千円

○災害公営住宅整備事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4, 690, 102千円

○優良建築物等整備事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 720, 674千円

○津波被災住宅再建事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 433, 409千円

○災害公営住宅入居支援事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67, 400千円

○放射線内部被ばく検査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23, 144千円

市民の放射性物質による内部被ばくの実態を把握するとともに、自己の健康管理に役立てていただくため、市が独自に設置したホールボディカウンター2台による、市民の内部被ばく検査を実施する。

○一時提供住宅入居者等見守り支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22, 674千円

一時提供住宅等入居世帯を訪問し、安否の確認や地域のつながり再生に向けた活動の支援等を行う。

○ふるさといわき復興番組事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16, 423千円

被災者をはじめとする市内及び県内の方々に、本市の復興に向けた取り組みなどを分かりやすく発信するため、月1回、実写映像を中心とした15分のテレビ番組を制作・放映する。

○市街化区域見直し調査事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3, 793千円

○空間線量モニタリング事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4, 553千円

市民の不安解消に向け、「いわきiマップ」内の放射線量測定マップのデータ管理を行うとともに、市民からモニタリングの要請があった場合の個別対応、市民自身が測定できる線量計貸出しなど、身近な線量の測定体制の充実に取り組む。

○被災自治体との連携推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 485千円

町外コミュニティの整備、受入自治体への支援等について、国、県及び被災自治体との協議を実施する。

## Ⅱ 生活環境の整備・充実

☆（仮称）なこそ子ども元気パーク屋内施設等整備事業【再掲】 496,499千円

☆市立集会所整備事業（復興交付金分）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65,168千円

東日本大震災復興交付金を活用し、被災した地域集会施設を市立集会所として整備する。（金ヶ沢地区、岩間地区）

☆休日夜間急病診療所整備事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8,365千円

☆被災消防団施設・機械整備事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,428千円

◎学校司書設置事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25,207千円

◎原子力災害安全対策強化事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10,770千円

○新病院建設事業【病院事業会計】【再掲】・・・・・・・・・・・・ 12,085,464千円

○除染推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5,825,491千円

放射性物質による市民の不安を取り除くため、個人住宅やその周辺農地・森林、更には道路、公共施設等において、きめ細かいモニタリングを行い、 $0.23\mu\text{Sv/時}$ 以上の住宅等を対象に除染を実施する。

○中学校災害復旧事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,317,498千円

○学校給食施設災害復旧事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,267,524千円

東日本大震災により稼働を停止している勿来学校給食共同調理場を移転改築する。

○スポーツ交流促進施設（多目的運動場）整備事業【再掲】 1,087,466千円

○被災児童・生徒遠距離等通学支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83,236千円

東日本大震災により被災し、遠距離通学を余儀なくされた児童・生徒が継続的かつ円滑に義務教育を受けることができるよう、スクールバスの借上げや通学のために利用する交通機関の運賃等を補助する。

○まち・未来創造支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52,278千円

市民活動団体が災害からの復興に向けたまちづくりや地域課題の解決、及び市民サービスを高める社会貢献活動などを実施する際に、必要な経費の一部を助成する。

○子ども遊び場除染事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20,000千円

○東日本大震災復旧復興記録保存事業・・・・・・・・・・ 18,350千円  
震災からの復旧・復興の姿を後世に引き継ぐとともに、市民の防災意識の向上につなげるため、動画を含めたさまざまな記録を収集・保存し、市民向けの冊子や記録DVDを編集・発行する。

○原子力災害対策計画改訂事業・・・・・・・・・・ 5,540千円  
国の原子力災害対策指針や県計画の今後の見直し状況を踏まえ、災害対策基本法に基づく「地域防災計画原子力災害対策編」及び「原子力災害避難計画」を改訂するとともに、計画の推進に努める。

**Ⅲ 社会基盤の再生・強化**

☆都市下水道復興整備事業・・・・・・・・・・ 1,154,240千円  
久之浜震災復興土地区画整理事業等の沿岸域の整備に合わせ、浸水被害防除のため、久之浜ポンプ場の再整備等を行う。

☆消防水利整備事業（復興交付金分）・・・・・・・・・・ 361,493千円  
津波被害沿岸部の土地区画整理事業と併せ、耐震性貯水槽などの消防水利を整備し、消防力の充実強化を図る。  
（耐震性貯水槽設置：18基、消火栓の新設・移設：47基）

☆都市公園整備事業（福島定住等緊急支援交付金分）【再掲】・ 171,012千円

☆復興道路整備事業（福島再生加速化交付金分）【再掲】・・・・ 157,000千円

☆被災沿岸域公共交通網再編事業・・・・・・・・・・ 9,742千円  
公共交通の利用が著しく不便な地域等において、地域が主体となった地域交通ワークショップを開催しながら、将来に向け持続可能な公共交通を構築する。

◎避難路整備事業【再掲】・・・・・・・・・・ 72,494千円

○震災復興土地区画整理事業【再掲】・・・・・・・・・・ 14,760,269千円

○沿岸被災河川整備事業・・・・・・・・・・ 836,172千円  
河川の河口部に津波・高潮対策の水門を設置する。（2箇所）

○都市公園整備事業（復興枠分）・・・・・・・・・・ 785,003千円  
市の広域避難場所に指定されている21世紀の森公園において、避難場所、救援物資中継所等、本市全体の広域的な防災拠点としての機能を有する公園施設を整備する。

○（仮称）久之浜・大久地区地域総合施設整備事業・・・・・・・・・・669,440千円  
久之浜・大久支所が有する「防災拠点機能」及び久之浜公民館が有する「まちづくり活動拠点機能」を一体化・集約化した、久之浜地区防災拠点施設（津波避難ビル）を整備する。

○防災集団移転促進事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・198,048千円

**IV 経済・産業の再生・創造**

☆農業系汚染廃棄物処理事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・808,446千円

☆空き店舗等入居支援事業費補助金【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・4,393千円

☆農地防災事業（県営事業負担金・復興交付金分）・・・・・・・・・・3,900千円  
県が実施する、夏井川の河口閉塞や地盤沈下の影響を受けている排水機場の増強に要する費用の一部を負担する。（細谷地区、沢帯地区）

◎工場等立地奨励金【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・699,560千円

◎自家消費用作物等モニタリング事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・87,752千円  
支所・公民館などにおいて、これまでの簡易分析装置に加え、新たに導入した非破壊式装置により、市内で生産された自家消費用作物等の放射性物質の検査を行う。  
（市内14箇所）

◎（仮称）いわきサンシャイン博開催支援事業【再掲】・・・・・・・・・・20,000千円

◎太平洋・島サミット開催支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・16,121千円  
平成27年5月に本市で開催される県内初の国際首脳会議である「いわき太平洋・島サミット2015」に向けた機運の醸成や本市の魅力を国内外に発信する取組みを支援する。

◎成長戦略産業育成支援事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・・・901千円

○小名浜港背後地復興拠点整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,406,859千円  
小名浜港背後地の福島臨海鉄道貨物ターミナル移転跡地において、津波防災機能を付加した複合商業施設の整備誘導や、国・県庁舎の集約化及びペDESTリアンデッキの整備を図り、防災性の高い魅力ある都市拠点づくりを進める。

○小名浜港背後地震災復興土地区画整理事業【土地区画整理事業特別会計】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 597,652千円

小名浜港背後地において都市基盤を整備する。

○いわき産農林水産物風評被害対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 91,211千円

原発事故による本市農林水産物への風評の払拭を図るため、消費者や生産者等に対する情報提供及びプロモーション活動等を行い、市内外での販路を確保する。

○技術開発支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30,761千円

市内企業における新たな商品やサービス、技術開発など、地域産業の活性化に貢献することが見込まれる取組を公募し、事業化に向けた総合的な支援を行う。

○再生可能エネルギー活用まちづくり推進事業・・・・・・・・・・・・ 26,784千円

住宅等への再生可能エネルギー機器設置費用の一部を補助するとともに、再生可能エネルギーに関する普及啓発を推進し、環境負荷の低減を図る。

○いわきサンシャインマラソン補助金・・・・・・・・・・・・・・・・ 10,000千円

大会の円滑な運営を図るため、実行委員会組織に補助金を交付する。

○ふくしまデスティネーションキャンペーン推進事業・・・・・・・・ 4,700千円

平成27年4～6月開催の「ふくしまデスティネーションキャンペーン」における二次交通整備やオープニングイベントの実施など、観光客の満足度向上を図り、リピーターを確保し更なる誘客を目指す。

○いわき国際研究産業都市構想研究会事業【再掲】・・・・・・・・ 1,068千円

○農商工連携推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,038千円

本市の多様で豊富な地域資源を活かし、異分野の連携により新たな付加価値を産み出す農商工連携事業について、そのビジネスとしての成立過程を、産業支援機関の連携により効果的に支援する。

**V 復興の推進**

☆被災沿岸地域まちづくり推進事業【再掲】・・・・・・・・・・・・ 3,000千円

### ③ 将来に向けたまちづくりの推進

#### 0 まちづくりにあたって

☆マイナンバーカードによるコンビニでの証明書交付事業・・・9,856千円

市民の利便性の向上・行政事務の効率化を図るため、マイナンバーカードを活用して、各種証明書を全国のコンビニで発行する環境を整備する。また、申請書の作成及び証明書の出力を自動で行う、簡易窓口交付システムを併せて整備する。

◎市民相談スピード処理経費・・・40,000千円

市民からの要望等のうち、緊急に対処すべき事案を処理する。

◎電子広報推進事業・・・27,245千円

市公式ホームページ及びSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の管理・運営を行うほか、ホームページシステムの更新等を行う。

◎社会保障・税番号制度導入事業・・・135,888千円

市民一人ひとりに重複のない個人番号（マイナンバー）を付番する社会保障・税番号制度の導入に伴い、庁内システムの構築等を行う。

◎市総合計画後期基本計画推進事業・・・4,929千円

新・市総合計画後期基本計画について、市民意識調査や地域との懇談会を実施しながら、震災の影響等を踏まえ見直しを行う。

#### I 美しい環境を守り、育てあう

☆一般廃棄物（ごみ）処理基本計画改定事業・・・3,407千円

東日本大震災をはじめとした社会経済情勢の変化を踏まえ、平成23年度から平成32年度を計画期間として、本市のごみ処理を適正に推進するために策定している一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改定を行う。

◎一般廃棄物ゼロ・エミッション推進事業・・・560,318千円

一般廃棄物のゼロ・エミッション化を推進するため、ごみ焼却灰や使用済み乾電池等をリサイクル処理し、ごみの再資源化と最終処分場の延命化を図る。

◎有害鳥獣駆除事業・・・24,781千円

有害鳥獣の捕獲等に係る許可事務やイノシシの個体数調整に向けた取組みを行い、野生鳥獣被害の減少を目指す。（年間捕獲頭数：2,400頭）

## Ⅱ 心をつなぎ、支えあう

☆民間社会福祉施設（障がい者施設）建設補助金・・・・・・・・・・268,027千円  
障がい者施設を整備する社会福祉法人、特定非営利活動法人等に対し、費用の一部を補助する。

☆小規模介護施設消防用設備等整備事業費補助金・・・・・・・・・・48,061千円  
「地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金」及び「地域介護・福祉空間整備推進交付金」を活用し、既存の小規模福祉施設に消防用設備等を整備する場合、補助金を交付する。

☆消防団充実強化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・27,044千円  
安全で円滑な消防団員の災害活動に向け、新たな消防団員服制基準に則り、安全性や機能性を有する活動服に更新する。（消防団員活動服一式：1,084着）

☆防災まちづくり活動支援事業【再掲】・・・・・・・・・・8,424千円

☆避難行動要支援者避難支援事業【再掲】・・・・・・・・・・2,368千円

☆障害者自発的活動支援事業費補助金・・・・・・・・・・1,000千円  
障がい者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障がい者やその家族、地域住民等が行う自発的な取組み（ピアサポート、災害対策、孤立防止活動支援、社会活動支援、ボランティア活動支援等）に対し、補助金を交付する。

☆地域総合施設整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・713千円  
耐震性が低く、老朽化が著しい支所庁舎等の整備について検討する。  
（小川地区及び川前地区の住民等との意見交換を実施）

◎放課後児童健全育成事業【再掲】・・・・・・・・・・247,757千円

◎障がい者チャレンジ雇用推進事業【再掲】・・・・・・・・・・11,708千円

◎献血等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,035千円  
市民各層に対し献血思想の普及啓発を図り、円滑な献血受入を推進する。また、「（仮称）いわき市民献血の日」を制定し献血事業の推進を図る。

### Ⅲ 学びあい、高めあう

☆陸上競技場改修事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 514,764千円

いわき陸上競技場及び補助競技場について、引き続き（公財）日本陸上競技連盟の公認を受けられるよう、必要な改修や備品整備を行う。

（いわき陸上競技場：第2種公認、補助競技場：第4種公認）

☆文化センター耐震化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28,847千円

施設利用者の安全性の確保するため、耐震化を図り、施設機能の強化及び地域防災力の向上を図る。（耐震補強基本設計、実施設計）

☆小・中学校机・いす更新事業【再掲】・・・・・・・・・・ 6,353千円

☆土曜学習推進モデル事業【再掲】・・・・・・・・・・ 3,753千円

◎三和・田人スクールバス通学支援事業【再掲】・・・・・・・・ 145,080千円

◎めざせオリンピック・トップアスリート養成事業・・・・・・・・ 5,181千円

2020年開催の東京オリンピックなど、国際大会への出場が見込まれる競技種目の選手・指導者を発掘するとともに、全国・世界規模の練習環境や対戦相手等の経験を積む機会を創出し、競技に対する意識高揚及び競技力向上を図る。

◎生徒会長サミット事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,552千円

○市立公民館耐震化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 199,192千円

施設利用者の安全性を確保するため、耐震補強工事を実施し、施設機能の強化及び地域防災力の向上を図る。（常磐公民館）

### Ⅳ 魅力を育み、磨きあう

☆小名浜港背後地まちなか回遊性向上事業・・・・・・・・・・ 183,763千円

小名浜港と既成市街地を直結する市道本町2号線を「津波復興拠点」と一体的に整備し、津波復興拠点の役割である「地域活力の復興の牽引」の効果を既成市街地に波及させ、既成市街地の復興を加速させる。

☆都市公園整備事業（補助）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22,650千円

都市公園の計画的な保全を行い、ライフサイクルコストの低減を図るとともに、計画的な改築・更新を推進するため、都市公園施設の長寿命化計画を策定する。

☆市制施行50周年記念事業広報PR事業【再掲】・・・・・・・・ 14,539千円

☆男女の出会いサポート事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11, 406千円  
結婚支援員、結婚サポーターを配置するほか、独身者向けに結婚支援に係る事業を実施する。（地域情報サイト「いわきあいあい」を活用した情報提供、男女の出会い創出事業など）

☆地域おこし協力隊活動事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・ 9, 701千円

☆地区まちづくり計画改訂調査事業【再掲】・・・・・・・・・・・・ 6, 079千円

☆市民プレゼン大会開催事業【再掲】・・・・・・・・・・・・・・・・ 590千円

○土地区画整理事業【土地区画整理事業特別会計】・・・・・・ 1, 442, 225千円  
都市計画内の土地について、区画形質の変更により、道路・公園及び河川などの公共施設の整備を行い、健全な市街地の形成と良好な宅地の供給を行う。  
（平南部第二、泉第三、勿来錦第一）

○いわき駅周辺再生拠点整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 365, 900千円  
陸の玄関口として相応しい風格ある中心市街地の形成及び交通結節機能の強化に向け、いわき駅周辺地区における都市施設の整備を図る。

**V 活気を生み、力を伸ばしあう**

☆農業振興事業（経営構造対策事業）・・・・・・・・・・・・ 369, 850千円  
トマトの通年栽培のために低コスト耐候性ハウスの整備や養液栽培システム等の導入を行う市内農業生産法人に対し、費用の一部を助成する。（四倉町中島地区）

☆中心市街地活性化基本計画策定事業【再掲】・・・・・・・・・・・・ 13, 195千円

☆農地集積協力金交付事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 11, 793千円  
担い手への農地の集積・集約を加速することを目的として、農地中間管理機構に農地を貸し付けた地域及び個人に対し、協力金を交付する。

☆農村環境計画策定事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 876千円  
土地改良事業の実施に当たって環境との調和に配慮するため、農村地域の環境保全に関するマスタープランを策定する。

☆団体営事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 600千円  
災害の未然防止を図るため、土地改良区が実施する土地改良施設の機能低下の防止、機能回復等に要する経費の一部を補助する。

- ☆農地中間管理推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 470千円  
農地の集積・集約を推進する農地中間管理機構の業務を受託して、農地の提供者から機構への貸付、機構から借受希望者への転貸に係る事務を行う。
  
- ☆森林・林業・木材産業振興プラン策定事業・・・・・・・・・・ 259千円  
本市の地域特性を踏まえた、林業振興施策の基本方針とする「森林・林業・木材産業振興プラン」を策定する。
  
- ◎多面的機能支払交付金事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 137,994千円  
農地・農業用水等の農業資源や農村環境について、その質を高めながら良好な状態で保全管理するため、地域の共同活動や地域資源の適切な保全管理を推進する活動を支援し、農村地域の持つ多面的機能の増進を図る。
  
- ◎新卒・若年者等就職サポート事業・・・・・・・・・・・・ 2,003千円  
求人・求職のミスマッチ等により、卒業時に就職の決まっていない学生や若年求職者等に対し、「学びの場」「相談・支援の場」「働く場」を一体的に提供し、早期の就職に繋げる。
  
- 農業・農村振興基本計画推進事業・・・・・・・・・・・・ 452千円  
本市における農業・農村振興の基本指針となる「新しいわき市農業・農村振興基本計画」の見直し等を行う。

**VI 交わり、連携を強めあう**

- ☆橋りょう長寿命化事業【再掲】・・・・・・・・・・・・ 69,000千円
  
- ☆側溝改良事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60,000千円  
「いわき市道路側溝相談受付センター」に寄せられた相談のうち、地盤沈下等による大規模な改修等が必要な側溝について改良を行う。
  
- ☆都市計画道路網再編事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,555千円  
平成15年12月に策定した「総合都市交通マスタープラン」の推進に向けて、補助幹線道路を含む都市計画道路の重要性・必要性等の検証・評価を行い、長期未着手道路の見直しを含め、望ましい都市計画道路網の再編を行う。
  
- 幹線道路整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,739,745千円  
生活環境の向上を図るため、地域間を連絡する幹線市道の改良及び舗装を行う。

○生活道路整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 485,668千円  
生活環境の改善や道路の利便性の向上を図るため、市道整備を行う。

○JR常磐線利便性向上推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 824千円  
鉄道交通の必要性について、全市的な機運の醸成を図るとともに、沿線自治体と連携を強化し、鉄道交通の利便性向上や利用促進等を図る。

## 5 主要事業の概要（一般会計）

（単位：千円）

区 分	件数				事業費	新規	拡充
		新規	拡充	その他			
<b>復興編</b>	<b>184</b>	<b>15</b>	<b>10</b>	<b>159</b>	<b>34,697,781</b>	<b>3,296,690</b>	<b>1,049,689</b>
I 被災者の生活再建	29	2		27	6,950,330	49,004	
II 生活環境の整備・充実	65	4	4	57	14,603,358	574,460	152,861
III 社会基盤の再生・強化	27	5	1	21	5,841,178	1,853,487	72,494
IV 経済・産業の再生・創造	59	3	5	51	7,279,506	816,739	824,334
V 復興の推進	4	1		3	23,409	3,000	
<b>まちづくり編</b>	<b>467</b>	<b>54</b>	<b>14</b>	<b>399</b>	<b>23,041,790</b>	<b>3,496,624</b>	<b>1,323,409</b>
<b>〇まちづくりにあたって</b>	<b>21</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>18</b>	<b>389,339</b>	<b>9,856</b>	<b>67,245</b>
1 認め合い尊重する社会の実現	5			5	6,517		
2 情報化社会の形成	6	1		5	171,229	9,856	
3 開かれた市政の推進	7		2	5	140,449		67,245
4 適正な土地利用の推進	2			2	66,215		
〇まちづくりにあたって	1			1	4,929		
<b>I 美しい環境を守り、育てあう</b>	<b>16</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>13</b>	<b>2,181,198</b>	<b>3,407</b>	<b>585,099</b>
1 低炭素社会の形成	1			1	1,466		
2 循環型社会の形成	11	1	1	9	1,833,684	3,407	560,318
3 自然共生社会の形成	4		1	3	346,048		24,781
<b>II 心をつなぎ、支えあう</b>	<b>187</b>	<b>18</b>	<b>5</b>	<b>164</b>	<b>10,931,854</b>	<b>1,613,469</b>	<b>376,255</b>
1 地域医療対策の推進	7		1	6	10,423		1,035
2 認め合い支えあう地域福祉の推進	13	1		12	224,512	2,368	
3 生涯にわたる健康づくりの推進	27			27	1,670,679		
4 子育て支援の推進	42	8	1	33	5,869,554	1,098,232	247,757
5 高齢者保健福祉の充実	18	1		17	562,595	48,061	
6 障がい者保健福祉の充実	47	3	2	42	1,770,647	286,308	121,673
7 防災体制の充実・強化	17	5	1	11	718,134	178,500	5,790
8 平穏な暮らしの実現	16			16	105,310		

(単位:千円)

区 分	件数				事業費	新規	拡充
		新規	拡充	その他			
<b>Ⅲ学びあい、高めあう</b>	<b>79</b>	<b>11</b>	<b>3</b>	<b>65</b>	<b>2,929,532</b>	<b>1,060,190</b>	<b>154,813</b>
1 生涯を通じた学習活動の推進	12	1		11	441,336	28,847	
2 個性を生かした学校教育の推進	47	7	2	38	1,545,528	222,687	149,632
3 生涯にわたるスポーツライフの実現	12	2	1	9	882,094	807,464	5,181
4 地域に根ざした市民文化の継承と創造	8	1		7	60,574	1,192	
<b>Ⅳ魅力を育み、磨きあう</b>	<b>33</b>	<b>9</b>		<b>24</b>	<b>1,240,422</b>	<b>257,779</b>	
1 魅力あふれる地域づくりの推進	12	6		6	95,919	45,287	
2 快適で安心な住空間の創出	21	3		18	1,144,503	212,492	
<b>Ⅴ活気を生み、力を伸ばしあう</b>	<b>102</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>92</b>	<b>2,003,378</b>	<b>398,043</b>	<b>139,997</b>
1 農業の振興	40	5	1	34	875,027	383,589	137,994
2 林業の振興	17	1		16	152,292	259	
3 水産業の振興	9			9	155,586		
4 工業の振興	5			5	12,650		
5 商業・サービス業の振興	14	1		13	730,086	13,195	
6 港湾の整備・利用の促進	3			3	10,538		
7 安定した雇用の確保	11		1	10	58,544		2,003
8 観光の振興	3	1		2	8,655	1,000	
<b>Ⅵ交わり、連携を強めあう</b>	<b>29</b>	<b>6</b>		<b>23</b>	<b>3,366,067</b>	<b>153,880</b>	
1 移動しやすい交通環境の実現	18	4		14	3,322,360	135,119	
2 交流・連携と多文化共生社会の形成	11	2		9	43,707	18,761	
<b>合 計</b>	<b>651</b>	<b>69</b>	<b>24</b>	<b>558</b>	<b>57,739,571</b>	<b>6,793,314</b>	<b>2,373,098</b>

## 【区分欄凡例】

☆：新規等事業

⇒平成27年度から新たに開始する事業（平成26年度の中から新たに開始した事業を含む）

◎：拡充等事業

⇒対象範囲の拡大など、事業内容の一部に新たな取組を含む事業

◇各事業の概要については、別紙「平成27年度いわき市当初予算の概要」、「平成27年度当初予算 主要事業調書（部等別）」のとおり。